

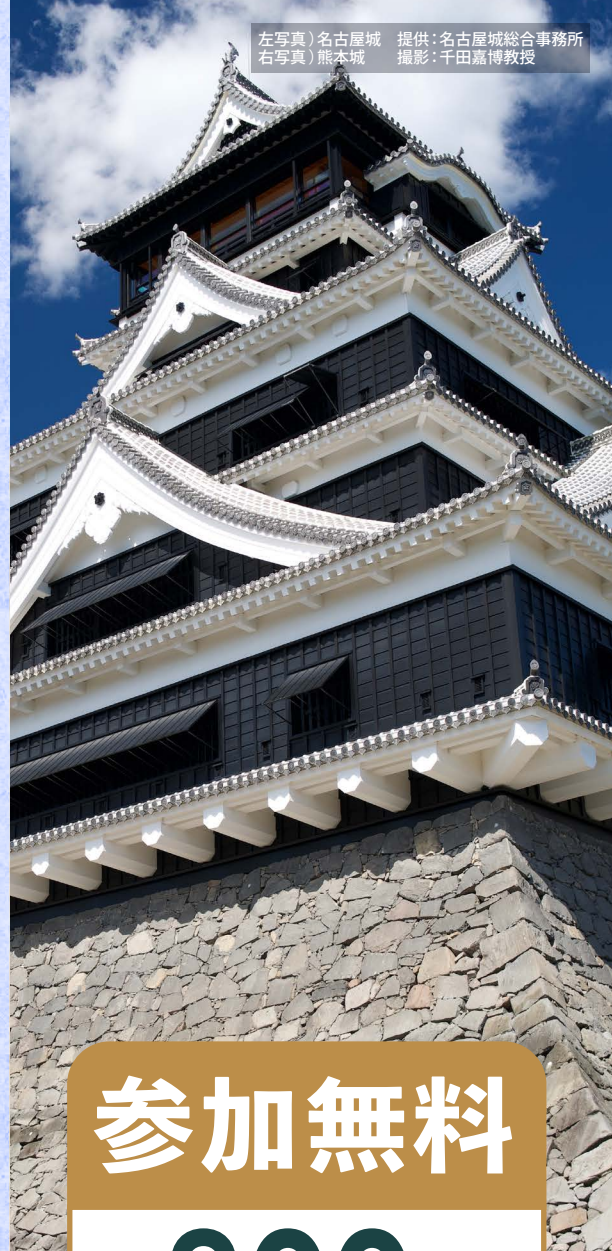


千田 嘉博 (撮影：畠中 和久氏)

熊本城と名古屋城

名古屋市立大学寄附講座（近世名古屋学）公開講座

— 加藤清正の城づくり —



左写真）名古屋城 提供：名古屋城総合事務所
右写真）熊本城 撮影：千田嘉博教授

参加無料

定員 **800** 名
事前申込制 ※お申込方法は裏面参照



日時

2026年

12月12日 土

13:00～16:30(12:00 開場)



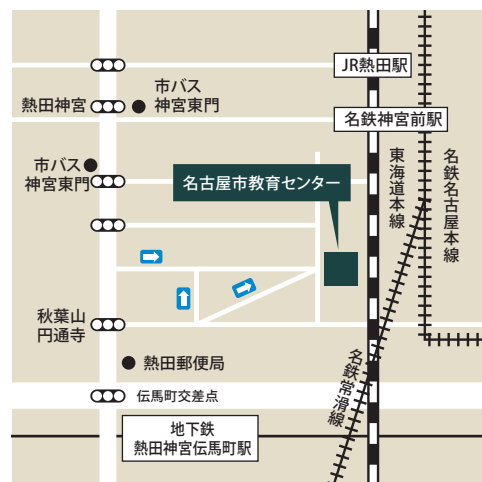
会場

名古屋市教育センター講堂

〒456-0031 名古屋市熱田区神宮三丁目6番14号

●地下鉄熱田神宮伝馬町駅「2番出口」より徒歩5分

●名鉄神宮前駅より徒歩5分 ●JR 熱田駅より徒歩10分



問い合わせ

名古屋市立大学寄附講座運営事務局

080-4932-8263 (お問い合わせは12月12日まで)

平日 / 10:00～17:00 当日のみ / 10:00～16:00

Email: jimukyoku@think-pp.co.jp

主催

名古屋市立大学

共催

名古屋市、名古屋市教育委員会

第1部 報告「加藤清正の築城術を読み解く」



「加藤清正の生涯と名古屋築城」

原 史彦 金城学院大学 文学部 総合歴史学科 教授

岐阜市出身。東京学芸大学教育学部卒業。
東京都江戸東京博物館・徳川美術館・名古屋城調査研究センター勤務を経て現職。
江戸幕府政治史・武家文化史・戦国時代史専攻。
主に尾張徳川家・名古屋城の歴史や、尾張領内地域史を専門に調査・研究を行う。



「文禄・慶長の役の倭城と清正」

高橋 圭也 名古屋城調査研究センター 学芸員

埼玉県所沢市出身。2020年奈良大学文学部文化財学科卒業、同年より名古屋城調査研究センター学芸員として従事する。主に名勝名古屋城二之丸庭園の発掘調査を担当。研究テーマは近世～近代の庭園と壬辰戦争初期の倭城。近年は庭園を構成する擬岩や擬木など人工造形材の研究に注力しており、全国各地や中国などで事例を収集中。



「熊本城の復旧からわかった加藤清正」

矢野 稔貴 熊本城調査研究センター 文化財保護主事

奈良大学大学院博士前期課程修了。2022年熊本市役所入庁。以来、特別史跡熊本城跡の発掘調査や石垣解体調査、崩落石材回収、遺物整理作業など、平成28年熊本地震からの復旧事業に従事。現在、北十八間櫓・東十八間櫓・五間櫓石垣解体工事を担当。専門は考古学（中近世）、特に城郭史を専門としている。

第2部 ディスカッション

「熊本城と名古屋城—加藤清正の城づくりと文化財防災」

進行役 千田 嘉博 名古屋市立大学 教授

パネリスト 原 史彦 × 高橋 圭也 × 矢野 稔貴

※時間や内容については、都合により変更することがあります。

お申込方法

申込フォーム

<https://form.run/@ncunagoyagaku1212>

入力事項

右側の二次元コードまたは上記URLから、代表者氏名（フリガナ）、メールアドレス、電話番号、参加人数（1組2名まで）を入力。
※電話番号は日中に連絡のつく番号をご入力ください。
※入力事項に不備がある場合や、同一メールアドレスから複数回応募した場合は無効（落選）となりますので、ご注意ください。



申込期限

2026年10月31日（土）まで

その他

応募者多数の場合は、抽選により決定します。
抽選結果は、応募者全員に対し、11月11日（水）～11月13日（金）の間にメールでお知らせします。
※ドメイン指定受信などの設定をされている場合は、「@form.run」からのメールを受信できるよう、事前にご確認ください。